

14 畜産経営体生産性向上対策

【令和5年度予算概算要求額 1,006（1,006）百万円】

＜対策のポイント＞

酪農・肉用牛経営の省力化・事故率低減等に資するロボット・AI・IoT等の先端技術の導入や、それらの機器等により得られる生産情報等を畜産経営の改善のために集約し、活用するための体制整備等を支援します。

＜事業目標＞ [平成30年→令和6年まで]

子畜の出生頭数の増加（乳用牛産子：72.0万頭/年→74.4万頭/年、肉用牛産子：51.7万頭/年→54.7万頭/年）

＜事業の内容＞

1. 畜産経営の生産性向上対策

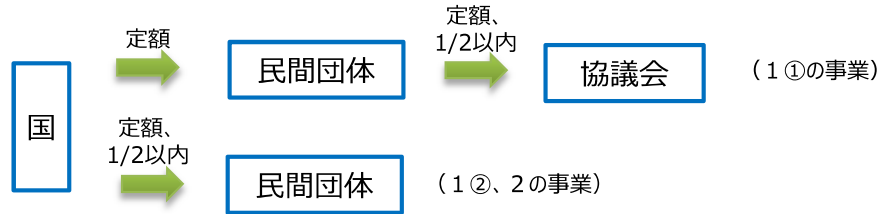
畜産経営の省力化・事故率低減等により、生産性向上を図るため、以下の取組を支援します。

- ① 搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械の導入
- ② ICT関連機械の規格に合った家畜生産等の推進

2. 畜産のビックデータ等の活用に向けた体制整備

畜産関係団体やITベンダー等が連携し、牛の個体識別番号と当該牛に関連する生産情報等を併せて集約し、活用する体制を整備する取組等を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 畜産経営の生産性向上対策

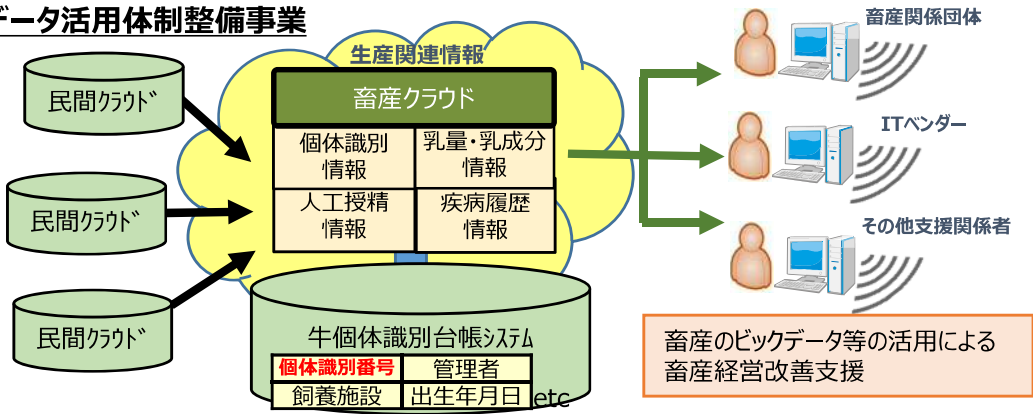
①省力化・事故率低減等により生産性向上につながる機械・装置（各種データ取得が可能）の導入を支援



②ロボット搾乳不適合家畜等に関する調査



2. 畜産データ活用体制整備事業



＜対策のポイント＞

データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る「データ駆動型農業」の実践及び施設園芸における化石燃料使用量削減に向けた取組みを促進するため、データ駆動型農業の実践体制づくり、ノウハウの整理、化石燃料使用量削減に係る取組みの事例収集やノウハウの展開、産地の指導者育成等の取組を支援します。

＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践〔令和7年まで〕

＜事業の内容＞

1. データ駆動型農業の実践体制づくり支援

施設園芸産地を中心として、データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る「データ駆動型農業」の実践を促進するため、産地としての取組体制の構築、データ収集、分析機器の活用、新規就農者の技術習得等を支援します。

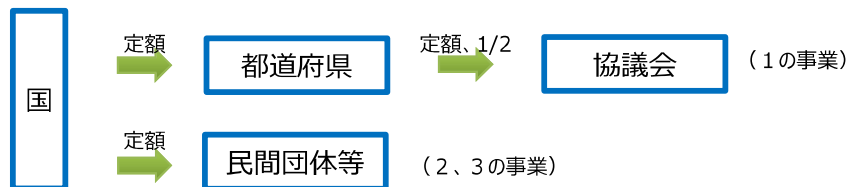
2. スマートグリーンハウス展開推進

従来型の既存ハウスからデータ駆動型の栽培体系への転換や、化石燃料の使用量削減に資する施設園芸への転換に係る事例収集、課題・ノウハウの整理、更なる低コスト化の検討、農業者への情報発信等を支援します。

3. 産地指導者のデータ活用技術習得支援

データ活用について産地を指導できる人材を育成するため、データ活用技術の習得に関する研修を実施するとともに、技術指導をサポートする取組を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

開発  
実証

新技術実装に向けた産地の体制づくり

データフル活用の体制づくり

- 環境モニタリング装置やセンシング等から得られる産地内の複数農業者のデータを収集・分析し、生産性・収益向上に結びつける体制づくり

- 農業者・企業・普及組織等による体制構築
- データ収集・分析機器の活用（環境モニタリング、環境制御、データに基づく施肥技術）
- 新規就農者の技術習得
- 既存ハウスのリノベーション 等



- データ駆動型農業の実践及び化石燃料使用量削減に係る課題・ノウハウの整理、更なる低コスト化の検討、情報発信
- 産地を指導できる人材の育成

実用化段階にある新技術

担い手による「データ駆動型農業」の実践

【お問い合わせ先】（1の事業）農産局園芸作物課（03-3593-6496）  
穀物課（03-6744-2108）  
（2の事業）園芸作物課（03-3593-6496）  
（3の事業）技術普及課（03-3593-6497）

# 農業支援サービス事業育成対策

【令和5年度予算概算要求額 273（100）百万円】

## <対策のポイント>

農業現場の課題に対応しつつ、**農業支援サービス事業体の新規参入**、既存事業者による**新たなサービス事業の育成・普及**を加速化するため、**新規事業の立上げ当初のビジネス確立**を支援するとともに、**農業支援サービスの活用促進**の取組を支援します。

## <事業目標>

農業支援サービスの利用を希望する農業の担い手の8割以上が実際に利用〔令和7年まで〕

## <事業の内容>

### 1. 農業支援サービスの育成

新規事業立ち上げ当初の**ニーズ確保**や**人材育成**に要する以下の取組を支援します（上限1,500万円）。

- ① ビジネス確立のための**ニーズ調査**
- ② デモ実演等に必要な**機械・システムの改修**や**データ収集**
- ③ 農業支援サービス事業体が行う**人材育成（研修費等）**等

※農業現場が直面している各課題に対応した以下の取組を優先的に採択します。

- 5
- ア 輸出等超低コスト型
  - イ みどり戦略型
  - ウ 高収益作物転換型
  - エ 資材コスト低減型
  - オ データ分析支援型

### 2. 農業支援サービスの活用促進

農業支援サービスの活用促進に資する以下の取組を支援します。

- ① マッチングイベントの開催
- ② 農業支援サービスを比較・検索できるサイトの構築

#### （関連事業）

**強い農業づくり総合支援交付金のうち農業支援サービス事業支援タイプ**  
16,405（12,566）百万円の内数

農業支援サービス事業の新規事業立ち上げに必要な、農薬散布用のドローン等**農業用機械のリース導入・取得**等を支援します。

## <事業の流れ>



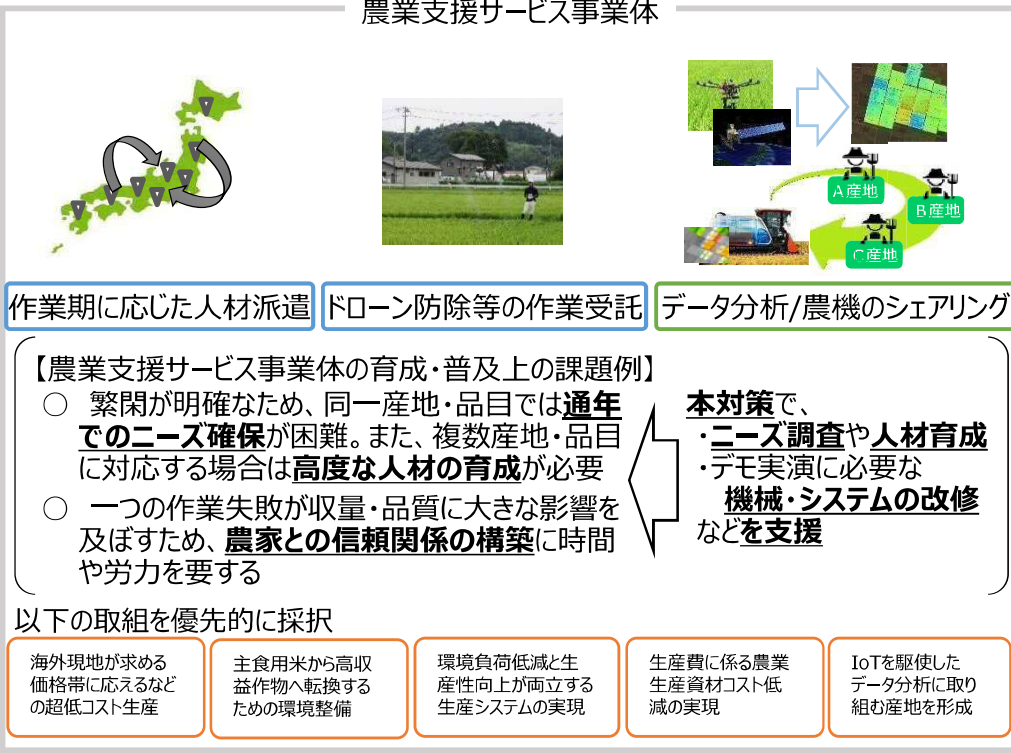
## <事業イメージ>

課題

- ・ 農業現場の厳しい人手不足（特にピーク時の臨時雇用）

課題

- ・ 収量・品質の低下
- ・ スマート農機導入コスト



【お問い合わせ先】 農産局技術普及課（03-6744-2218）

52 農地利用効率化等支援交付金

【令和5年度予算概算要求額 2,460（2,050）百万円】

＜対策のポイント＞

地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現に向けて、生産の効率化に取り組む等の場合、必要な農業用機械・施設の導入を支援します。

＜事業目標＞

全農地面積に占める担い手が利用する面積の割合の増加（8割〔令和5年度まで〕）

＜事業の内容＞

目標地図に位置付けられた者等が、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現に向けて、生産の効率化に取り組む等の場合、必要な農業用機械・施設の導入を支援します。

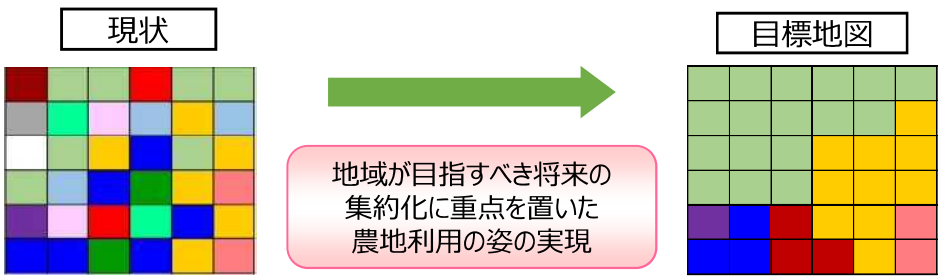
※ 広域に展開する農業法人等の経営の高度化に必要な農業用機械・施設の導入は、補助上限額を引上げ（先進的農業経営確立支援タイプ）

- ※ スマート農業、集約型農業経営、グリーン化について、優先枠を設けて支援
- ・スマート農業優先枠  
ロボット技術・ICT機械等の導入（農業支援サービス事業体の取組も対象）
  - ・集約型農業経営優先枠  
中山間地域等での集約型農業に必要な機械等の導入
  - ・グリーン化優先枠  
「みどりの食料システム戦略」を踏まえた環境に配慮した営農に必要な機械等の導入

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



|       |                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 助成対象者 | 目標地図に位置付けられた者、認定農業者・認定就農者などの人・農地プランに位置付けられた者、地域における継続的な農地利用を図る者として市町村が認める者       |
| 助成内容  | 地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現に向けて、生産の効率化に取り組む等の場合に必要な農業用機械・施設（事業費50万円以上）        |
| 補助率   | 融資残額のうち事業費の3/10以内 等                                                              |
| 補助上限額 | 300万円（目標地図に位置付けられた者は上限を600万円に引き上げ）等<br>（先進的農業経営確立支援タイプ：<br>個人1,000万円、法人1,500万円等） |

（この他、一定の条件を有する地域において、共同利用機械・施設の導入を支援する事業を実施）

【お問い合わせ先】 経営局経営政策課担い手総合対策室（03-6744-2148）

# 農山漁村振興交付金のうち 中山間地農業推進対策

【令和5年度予算概算要求額 13,777（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

中山間地域等において、中山間地農業ルネッサンス事業の地域別農業振興計画に基づき、収益力向上、販売力強化、生活支援等に関する具体的な取組、複数の農村集落の機能を補完する「農村型地域運営組織（農村RMO）」の形成、デジタル技術の導入・定着に対する支援を実施します。

## <事業目標>

中山間地域の特色を活かした営農と所得の確保に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（350地区〔令和7年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 中山間地農業ルネッサンス推進事業

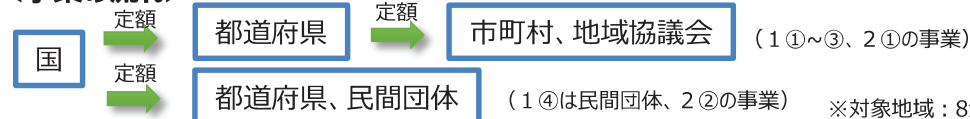
- ① 中山間地農業ルネッサンス推進支援  
中山間地域等の特色を活かした創意工夫あふれる取組等を支援します。
- ② 元気な地域創出モデル支援  
収益力向上、販売力強化、生活支援等に関する具体的な取組、デジタル技術の導入・定着を後押しすることで、優良事例創出を推進します。  
（上限500万円/地区・年（デジタル技術活用の場合は1,000万円/地区・年））  
【事業期間：上限3年間（デジタル技術活用の場合は5年間）】
- ③ 地域レジリエンス強化支援  
地域レジリエンス強化連携協定に基づく災害時の避難等に関する活動を支援します。  
（上限500万円/地区）
- ④ 中山間地複合経営実践支援  
地域特性に応じた複合経営を実践する取組を支援します。

### 2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

- ① 農村RMOモデル形成支援  
地域協議会等が作成する将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用、生活支援にかかる調査、計画作成、実証事業等の取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を支援します。  
【事業期間：上限3年間（デジタル技術活用の場合は5年間）】
- ② 農村RMO伴走支援体制の構築  
協議会の伴走者となる中間支援組織の育成等の取組を支援します。

※下線部は拡充内容

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 1. ② 元気な地域創出モデル支援（デジタル技術活用）

**ア 収益力向上+《デジタル技術》**  
高収益作物導入

高収益作物の導入 + 《栽培技術のeラーニング》

**イ 販売力強化+《デジタル技術》**  
高糖度トマト

高品質作物生産 + 《出荷予測システム構築》

**ウ 農用地保全+《デジタル技術》**  
棚田の保全

農用地保全 + 《棚田の水管理を遠隔操作》

**エ 複合経営+《デジタル技術》**  
ミニトマト

農業・加工品開発 + 《自動収穫ロボット》

**オ 生活支援+《デジタル技術》**

買い物支援 + 《デジタル技術を活用した生活サービス》

### 2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

《デジタル技術の導入・定着のための実証・改善・普及等の実施》

### デジタル技術を活用した農村RMOの形成

【お問い合わせ先】農村振興局地域振興課（03-3501-8359）

# 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 ～地域で支え合うむらづくりの推進～

【令和5年度予算概算要求額 13,777（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

中山間地域等において、複数の農村集落の機能を補完する**農村RMOの形成**により**地域で支え合うむらづくり**を推進するため、**むらづくり協議会等が行う実証事業等**の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる**中間支援組織の育成等**の取組に対する支援を実施します。

## <事業目標>

農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区〔令和8年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 農村RMOモデル形成支援

地域協議会等が作成する**将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用、生活支援**にかかる**調査、計画作成、実証事業等**の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組に対して支援します。

【事業期間：上限3年間（デジタル技術活用の場合は5年間）、交付率：定額】

### 2. 農村RMO伴走支援体制の構築

農村RMO形成を効率的に進めるため、**中間支援組織の育成等**を通じた都道府県単位における**伴走支援体制の構築**や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う**全国プラットフォームの整備**に対して支援します。

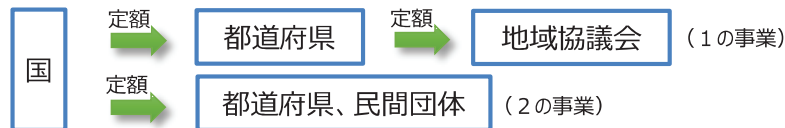
※下線部は拡充内容

### 農村型地域運営組織

（農村RMO：Region Management Organization）

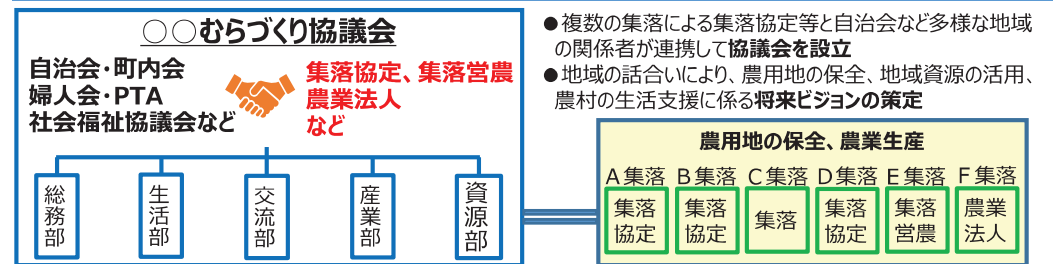
複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ



### 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

#### 農村RMOモデル形成支援



### デジタル技術を活用した農村RMOの形成

#### 農村RMO形成伴走支援



【お問い合わせ先】農村振興局地域振興課（03-3501-8359）